

鈴鹿市立天栄中学校 第6回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和6年2月9日(金) 16:00~17:35

2 場所 天栄中学校被服室

3 あいさつ

*委員長

共有するところは共有していきましょう。

4 教育指導課 部活動地域移行準備室より

- ・中学校の部活動を国が移行していくと決め、鈴鹿市も取り組みが進んでいる。
- ・取組が進んで学校部活動が無くなるわけではない。土日が地域クラブ活動になるということ。
- ・令和8年度には移行完了したい。平日が学校、休日は地域といったスタイルになる。
- ・鈴鹿市と似た規模の焼津市をモデルとするため、視察を行った。
- ・地域移行モデル事業を「お試し」として、実施しながら最適解を探していきたい。
- *子どもたちがどのような部活動に参加したいか選べるものになるか？
→平日についてはまだ未着手。まずはできるところから地域化をすすめ、後々は子どもたちが望む部活動を選べるように。
- *大会は休日に多いが・・・。
→一番多い質問であるが、未定。中体連が検討中なので決まればそれに従う予定。
- *休日と平日の先生の情報共有は？
→時間もないが、ICT機器等駆使して何とかコミュニケーションをとっていきたい。
- *先生の負担は減るのですか？
→部活動指導をもっとやりたい先生もいらっしゃるが、自分の専門でない場合、精神的にも負担は大きい。そういった先生方の負担は減らせる。

5 協議事項(学校関係者評価について)

(1) 学力向上

- ・授業改善を進めた結果として学力向上につながればと考えている。脱・一斉授業を目指している。協働課題について賛同いただいた。来年度もすすめていきたい。誰一人取り残さずに、ともに学び合う授業を研究していきたい。
- ・ICTの利活用をすすめていきたい。
- ・子どもたちのファシリテーターとして、子どもたちの困り感に寄り添い、一人になる生徒を作らないよう見守る。
- ・各教科の宿題の調整をしていきたい。
- ・家庭学習での学びを協働の場で活用できるなど、家庭学習と授業をつないでいく。
- ・職場体験学習で学ぶ責任感・自己有用感等を大切に、取組を継続していく。
- ・目標を持って進んでいくためのプログラム(ようこそ先輩等)を組んでいきたい。
- ・人の役に立ちたいという子どもたちの思いを上手に昇華できれば。

*市内で宿題について共有できる場はあるのですか？

→校長：学力向上の会議等で可能です。良い方法を共有していきたい。

(2) 生徒支援

- ・学期に1期間は教育相談期間も実施しているが、もっといつでも気軽に相談できるように環境づくりと関係づくりに力を入れたい。
- ・外部機関との連携により、専門的なノウハウを教えていただきながら生徒に対応していきたい。

- ・特別支援の子どもたちがクラスの中の関係づくりも大切にしたい。
- ・SNSの問題に危機感がない生徒も多い。アンケート調査結果から、学力や生活がどうなるか保護者に訴えることも続けたい。
- ・生徒指導提要が改定された。発達支持的生徒支援（自主性を育む・頑張れる等を育む）を心がけていきたい。

*教育相談期間とはどのようなもの？

→校長：担任が生徒全員とその期間に話をしています。

→ぜひ続けてください。

(3) 人権教育

- ・稲生小学校との連携が必須。やれることからすすめていきたい。
- ・学年・クラスによって課題はちがうので、実態に合わせた取組を行う。必要あれば修正も。
- ・人の良さに目を向ける承認活動、人の困り感に目を向けるつづり作文を大切に。

*稲生小は8年も経つのに連携が進まない。上に文句を上げるべき。

市教委が対応すべき。天栄に来る地域が特定できていないので対応もできない。

→校長：学びよつながれ！プロジェクトが稲生小でもできるようになった。少しの糸口からでもすすめていかねば。

*PTA 役員が当たりやすいということで、稲生の保護者が白子に行くという話を聞いた。

規約が違うことも原因。白子と天栄で規約のすり合わせも必要では？

白子中か天栄中かはいつごろ決まるのか？

→校長：11月ごろに決まる。

(4) 生徒会

- ・校区の小学校との取組の促進、地域との取組もすすめて欲しいとのご意見をいただいた。育ちの部会「子ども交流委員会」で検討できれば。
- ・生徒が主体的に進める活動をすすめていきたい。

*ピンクシャツ運動がいつ行われるのかアナウンスいただけたら参加したい。ぜひアナウンスを！

→校長：今年度はあいさつ運動を兼ねて早朝に活動していた。朝にご参加いただければ。来年度は来年度の生徒会が考えるので、また変更する可能性も。

(5) コミュニティ・スクール

- ・管理職だけではなく、職員との関わりももっていききたいとのご意見。子どもたちとの交流も促進したい。
- ・コミュニティ・スクール職員の認識も職員の中で深めていくべき。
- ・HPの更新を頻繁にするよう努力する。
- ・地域力の活用ということで、子どもたちの参画もすすめたい。

(6) 小中一貫

- ・人権でもご指摘があったが、稲生小との連携をすすめたい。

(7) 危機管理

- ・自分事として受け止めることが大切。工夫して指導していきたい。

- ・防災への意識を高める。地域の防災訓練に生徒が参画することもできればよい。

*子どもたちが危険箇所の確認は年度当初にするのか？

→校長：その都度指導はさせてもらっている。事後になることが多い。

*稲生の子たちのルートは大丈夫か。

→校長：ファミマ方面への道が危険ではある。

*ショートカットする子がいました。ヘルメット被らずの子も。

→校長：翌日に担任から指導することがほとんど。今後も地道に指導を続けていく。

(8) 保護者・地域との信頼関係の向上

- ・子どもを中心に据えた話し合いが大切。丁寧に対応するよう心がけたい。

*教師の対応について保護者で話す機会はあるか？

→あまりないですね。

→情報がないと不安も膨らみがちと思うが・・・。

→担任の先生との関係を大切にすること。外部の方の専門的なアドバイスも大切だが、最後は担任と子どもが良い関係で終われることが一番良い。

(9) 働き方改革

- ・平日2時間、休日3時間の、部活動のガイドラインを守る。
- ・学校がしなくてはならないこと・学校がしなくてもよいこと・学校がする必要のないことを精査する必要がある。
- ・仕事が属人化されないよう、校務分掌の見直しにより、仕事を振り分けていく必要がある。

6 CS推進コーディネーターより

- ・続けて見守っていただければありがたい。来年度もできればお願いしたい。
- ・今年度のご意見は、来年度の学校の経営方針に反映させていく。
- ・稲生との連携も皆さんのご意見を参考に方策を練っていく。
- ・「職員の意見がききたい」とのご意見。小学校では、夏休みに交流の時間を設けている学校も。「子どもたちの意見もききたい」というご意見からそういった場を設けることも。

7 その他

(1) 第76回卒業証書授与式について

(2) 令和6年度 学校運営協議会委員の委嘱について

※令和6年度 第1回学校運営協議会 5月初旬予定